

Topics  
1

### 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

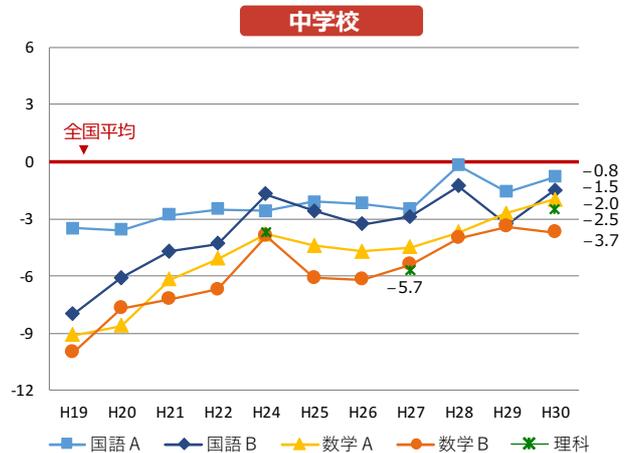
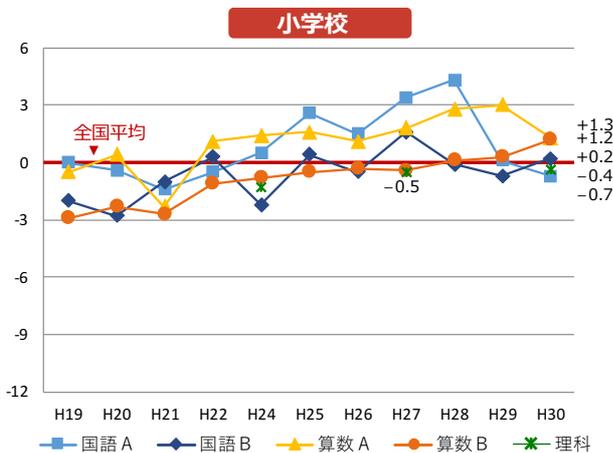
本年4月17日に行われた全国学力・学習状況調査の結果が7月31日に公表されました。今回は、悉皆調査としては9回目、抽出調査を併せると11回目の調査となり、3年ぶりに理科の調査も行われました。

それぞれの校種・教科の状況を見ると、まず、小学校の国語については、知識・技能の定着を問うA問題で全国平均を下回っており、活用の力を問うB問題においては若干全国平均を上回る状況にあります。中学校については、国語・数学ともに全国平均を超えることはできていませんが、国語A・B、数学Aにおいて昨年度の結果を上回り、全国平均との差を2ポイント以内に縮める結果となっています。

3年ぶりに実施となった理科についても、全国平均には届いていませんが、小・中学校ともに前回は上回る結果となりました。

#### ●教科に関する調査の結果

##### (1) 学力の状況の経年変化



※平成22・24年度は抽出調査、平成23年度は東日本大震災の影響により全国調査は未実施

##### (2) 特徴的な問題

###### 小学校 国語 A

○衛生を保つために、調理器具などを一日に何度もしゅう毒する。

3 2 1  
運動会で赤組がかつ。  
ノートの文字をけす。  
細かい説明をはぶく。

これまで：覚えた漢字を書く

H30年度：下線部と同じ漢字を使って書く文を選ぶ

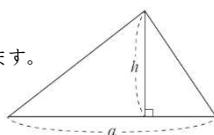
選択肢	反応率(%)
1	9.5
2◎	82.3
3	3.8

小学校国語A問題について、以前のように漢字の読み書きを問うような問題が多く出題された時は、全国平均よりもかなり高い正答率でしたが、本年度のように文中での活用を含めた問題になった場合に、その正答率が下がり全国並となっています。算数A問題についても、単純に計算する問題が1問も出題されておらず、計算した答えの意味を問うような問題が出題されています。

###### 中学校 数学 A

(4) 右の図で、底辺の長さa、高さhの三角形の面積Sは、次のように表されます。

$$S = \frac{1}{2} ah$$



底辺の長さを求めるために、この式を、aについて解きなさい。

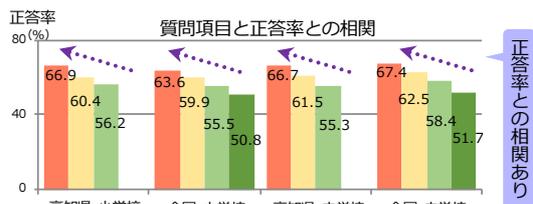
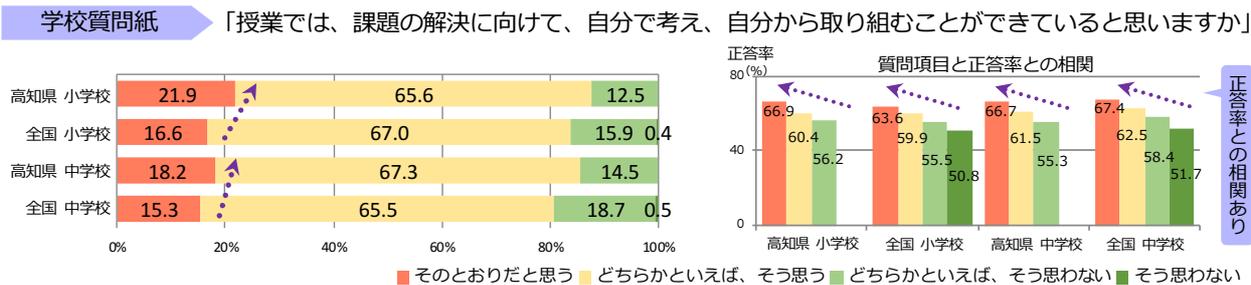
H21 正答率	
高知県	32.5
全国	44.5
県と全国の差	-12.0

H30 正答率	
高知県	54.8
全国	48.2
県と全国の差	+6.6

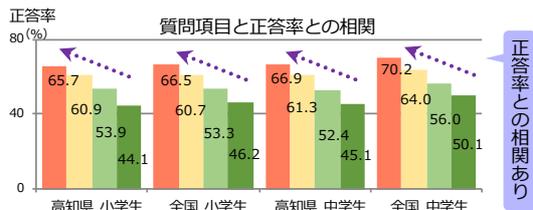
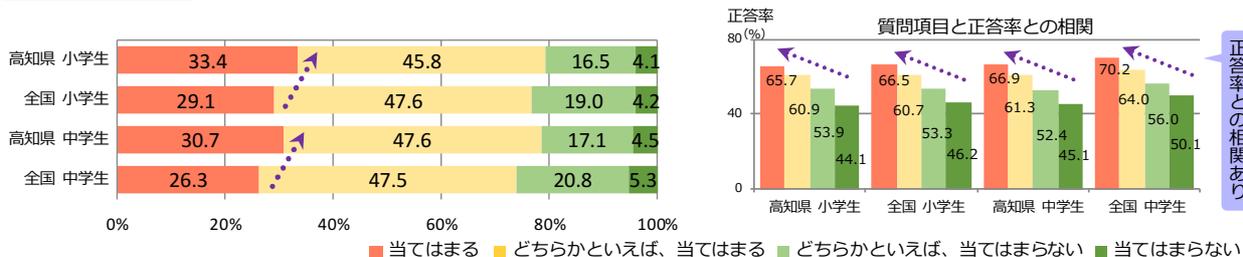
中学校数学A問題において、「等式の変形」については、平成21年度と全く同じ問題が出題されました。全国平均との差と比較すると本年度は大きく改善しました。このことは、学校現場で粘り強く指導を繰り返してきた成果の表れであるといえます。しかしながら数学Bにおいては、全国平均を大きく下回り3.7ポイントの差があり、活用する力が十分身に付いていないことが課題となっています。

● 質問紙に関する調査の結果

(1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

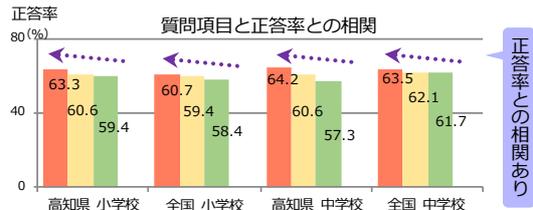
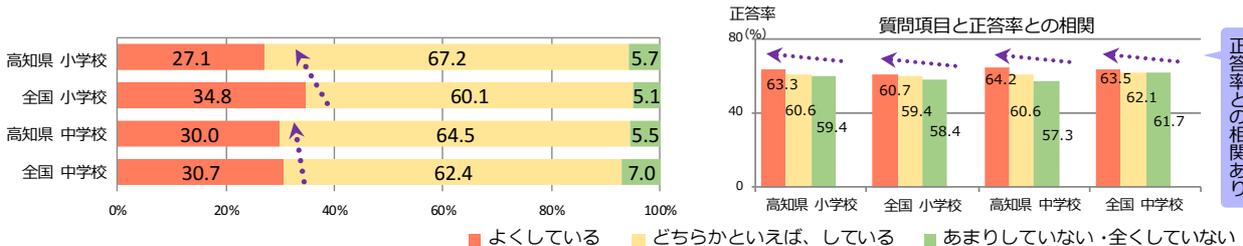


**児童生徒質問紙** 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」

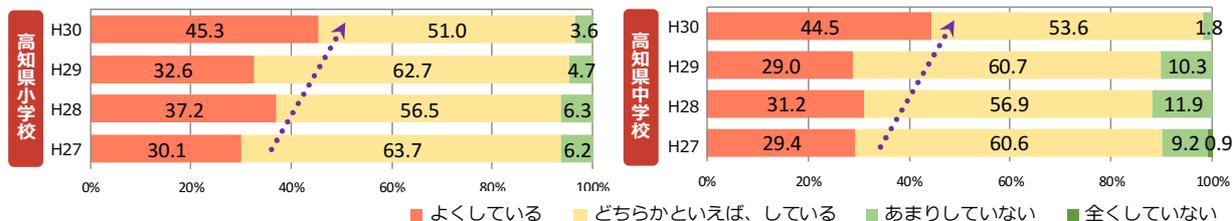


(2) 学校運営に関する取組状況

**学校質問紙** 「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」



**学校質問紙** 「学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか」



- ・授業において「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」ことについては、学校・児童生徒質問紙ともに肯定的に回答した割合は全国平均を上回っており、肯定的に回答した学校や児童生徒ほど正答率が高い傾向にあります。
- ・教育課程に係るPDCAサイクルの確立については、「よくしている」と答えた学校の割合は全国平均を下回る状況です。この質問に示されたような取組を推進し、カリキュラム・マネジメントの充実に努めていくことが大切です。
- ・教職員同士がよく協力し合っていると回答した学校の割合は増加傾向にあります。特に中学校は、昨年度よりも大幅に向上していますが、その要因として、「教科のタテ持ち」や「教科間連携」などの取組により、教職員同士が学び合い協力し合う取組が広がってきたことが挙げられます。

今後の取組

授業づくり

小学校は平成32年度、中学校では平成33年度からスタートする新学習指導要領の実施に向け、これから求められる知識・技能を活用する力や思考力・判断力・表現力等の育成を目指した資質・能力ベースの授業づくりを行う。

教職員のチーム化

中学校では教員の配置に応じて、全ての学校において「教科のタテ持ち」や「教科間連携」、またはその両方の型をミックスした取組を導入することや、小学校ではメンター制を導入するなど学校組織の仕組みを充実し教職員のチーム化を図る。

協働と徹底の文化の創造へ



詳しくは小中学校課のホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310301/>



小中学校課 学力向上担当  
 TEL : 088-821-4638

## 高知県地域学校協働活動研修会を開催しました！

県では、家庭・地域・学校が一体となって子どもを育てる仕組みである学校支援地域本部の設置を促進するとともに、本部の活動の充実に向けた取組を進めており、現在、県内の8割以上の小・中・義務教育学校で活動が行われています。また、地域と学校がパートナーとして協働し、子どもたちを日常的に見守り育む「高知県版地域学校協働本部」へと発展させていく取組も進めており、昨年度はモデル校7本部で、今年度は各市町村1校以上の推進校において、各地域の特色に応じた取組を進めています。

こうした取組を更に充実させるため、7月19日に、いの町総合保健福祉センターにて高知県地域学校協働活動研修会を開催しました。この研修会では約90名の参加があり、高知県版地域学校協働本部認定証授与式、基調講演と実践発表を行いました。

授与式では、昨年度のモデル校7本部及び先進的に取組を進めている2本部に対して、その成果を称え、県教育長より認定証が授与されました。

講演では、埼玉県教育局の市川社会教育主事から、従来の学校支援活動から、地域づくりにつながる「連携・協働」した活動へと発展させていくことの重要性や、国が目指す「社会に開かれた教育課程」における位置づけ、学校運営に地域の声を積極的に生かす取組である「コミュニティ・スクール」との連携などについてお話がありました。

実践発表では、香南市立野市東小学校の門田校長から、地域の方への依頼内容を明確にしたことや民生・児童委員との情報交換の仕組みなど高知県版地域学校協働本部モデル校の取組が紹介されました。また、香美市立大柘中学校の小川校長から、学校運営協議会で目指す子どもの姿を共有し、地域創生を目指した様々な取組を行っている地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの両輪で取り組まれている事例が発表されました。

こうしたモデル的な取組を掲載した「高知県版地域学校協働本部モデル事例集」を生涯学習課のホームページに掲載していますので、取組を進めるにあたっての参考にしてください。



モデル事例集は生涯学習課のホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310401>



生涯学習課 地域学校協働支援担当  
TEL : 088-821-4897

## 教科研究センター講座に参加してみませんか？

教科研究センターでは、県内の教職員及び教育職を志す人を対象に、授業づくり等の基礎・基本に関する基礎講座や教科・領域に特化した専門講座を開催しております。昨年度の講座受講者からは、「様々な講座がありますが、今回ほど分かりやすく実践しやすい講座は初めてです。」「他教科、他校種の方からも意見をもらえる貴重な機会でした。」「実際に先生方がどういった授業づくりをされていたか、どのような準備をされていたのかを知ることができ、参考になりました。」などの声をいただいています。

新たな発見もあり、毎回勉強になる講座ばかりです。みなさんの参加をお待ちしています。

講座名	内容	開催日	場所
基礎講座	Ⅲ 特別支援教育の視点に立つ授業づくり	10/27 (土)	教育センター本館
	Ⅳ 授業づくりで大切にしたいことⅠ	12/1 (土)	
	Ⅴ 授業づくりで大切にしたいことⅡ	1/26 (土)	
専門講座	Ⅱ 郷土資料の活用Ⅰ	9/29 (土)	高知城歴史博物館
	Ⅲ 郷土資料の活用Ⅱ	11/10 (土)	
	Ⅳ 「CAN-DO リスト」を活用した英語の授業づくり	10/13 (土) 午前：Ⅳ 午後：Ⅴ	教育センター本館
	Ⅴ 協調学習〈知識構成型ジグソー法〉の授業づくり		

講座の実施要項は、それぞれ開催約1ヶ月前に教科研究センターのホームページにアップします。



教科研究センターのホームページはこちら。  
<http://www.kochinet.ed.jp/studycenter/>



教育センター 研究開発・グローバル教育担当  
TEL : 088-866-5155

## 第3回高知県特別支援学校技能検定を実施しました！

県では、特別支援学校に在籍する生徒が、作業学習等を通じて身に付けた知識、技能、態度を、産業現場の専門的な視点から評価及び認定を受けることによって、生徒の働く意欲や自信、学習意欲等を高めるとともに、企業や社会一般の人々に障害のある生徒の力をアピールし、その雇用の促進を図るために、平成28年度から高知県特別支援学校技能検定を実施しています。

本年度は、3回目となる技能検定を平成30年8月28日（火）に高知県障害者スポーツセンターにて実施し、国立1校、県立5校、市立1校の全7校から計50名の中学部・高等部の生徒が、清掃部門で5種目、接客部門で1種目を受検しました。

また、高知労働局に協力いただき、一般企業を対象に「障害者雇用促進セミナー」を同時開催し、技能検定を見学する時間を設けて、特別支援学校の生徒達が就労に向けて取り組む姿や身につけてきた技能を見てもらいました。



検定の級は1～10級となっており、検定終了後の拡大実施委員会において審査が行われました。今回の1級取得者19名には、9月19日（水）の授与式において、高知県教育長から認定証が手渡されました。



特別支援教育課のホームページはこちら。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/>



特別支援教育課 特別支援学校担当

TEL : 088-821-4741

### 行事予定 (10月、11月の主なもの)

#### 10月

- 10日 若者はばたけプログラム活用研修会初級講座Ⅲ  
(いの町 県立高知青少年の家 10:30～)
- 12日 平成30年度高知県市町村教育委員会連合会研修会  
(高知市 高知会館 13:30～)
- 15・16日 高知県立須崎総合高等学校学校説明会  
22日 (15日 四万十町 農村環境改善センター 16:00～)  
(16日 須崎市 市民文化会館 16:00～)  
(22日 佐川町 総合文化センター 16:00～)
- 22～30日 平成30年度高知県公立学校再任用選考審査  
(高知市 県庁西庁舎教育委員室ほか 9:00～)
- 28日 留学フェア  
(高知市 ちより街テラス 13:00～)

#### 11月

- 2日 第44回高知県小中学校教頭会研究大会  
(高知市 高知会館・高知共済会館 9:00～)
- 8日 親子で楽しむ運動遊び  
(黒潮町 佐賀保育所 10:00～)

- 10日 明治150 記念薩長土肥4県交流フィールドワーク  
(高知市 坂本龍馬記念館ほか 9:30～)
- 11日 明治150年記念式典 次世代の「志」応援フォーラム  
(高知市 高知ぢばさんセンター 10:00～)
- 13日 親子で楽しむ運動遊び  
(黒潮町 大方中央保育所 10:00～)
- 15・16日 第41回中国・四国地区社会教育研究大会高知大会  
(15日 高知市 県民文化ホール 13:00～)  
(16日 高知市 共済会館ほか 9:30～)
- 16日 未来にかがやく子ども育成型学校連携事業公開授業研修会  
(安芸市 安芸中学校区全小・中学校 13:00～)
- 19日 学校保健推進研修会  
(高知市 県民文化ホールほか 9:30～)
- 21日 未来にかがやく子ども育成型学校連携事業公開授業研修会  
(佐川町 佐川中学校区全小・中学校 13:00～)
- 22日 平成30年度教職員等表彰式  
(高知市 高知会館 15:30～)

<発行者> 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL : 088-821-4731 FAX : 088-821-4558 E-mail : 310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 WEB サイト : <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

